



川場村議会広報

通巻第64号

# 田園理想郷

## 時代

No. 9  
2021.8.1

名刹としても観光名所として存在感が光ります。「枝分け巨き姫小松」「山門の勅額永久に青龍山」と、二題が川場かるたに詠まれています。

(吉祥寺)



就任あいさつ	2~ 3
臨時会・6月定例会	4~ 5
一般質問	6~ 8
臨時総会・全員協議会・議会の動き	9
ぼいす・編集後記	10

就任あいさつ



議長 角田 文雄

議長就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。  
 去る5月13日招集の令和3年第2回議会臨時会において行なわれました議長選挙においてこのたび栄誉ある第25代議長を拝命させていただき、光栄でありますと共に責務の重さに身の引き締まる思いです。  
 私は、議長として安全・安心な村政の実現のために村民皆さまの声を背景に提案、議論しながら議会が持てる力を十分發揮して、円滑な議会運営に取り組みます。新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延するなか、川場村におきましても日

常生活や地域経済に少なからず影響されていますが、一日でも早い収束を祈ります。  
 議会の役割は自治体の意思決定機関および、行政の監視機関として大変重要な役割を果たす使命があります。これからのむらづくりの大きな施策として令和5年の竣工を目指している役場庁舎の建設や、豊かな心と学力の向上を目的とした小中一貫校は令和7年に開校予定をしております。  
 今後も村民皆さまの声を基に議論し活力ある村政の発展に寄与したいと思っておりますので、より一層のご理解を賜りますようお願い致しまして議長就任の挨拶とさせていただきます。

村の繁栄発展に知恵をしぼり汗を流す

村民の皆さまには、平素から議会活動にご理解ご協力を賜りましてまことにありがとうございます。衷心より厚くお礼申しあげます。  
 川場村議会副議長という大役を仰せつかり、ありがたく感じ入ると同時に、浅学非才の身には過分な栄誉ではないかと、恐縮と感謝が入り混じった心境にあります。一方で、改めて責務の重さに思いを到らせ、気を引き締めている次第です。  
 あつて、本村は的確に対応しながらたゆみない前進を続けています。小さな自治体でありながら大

きな推力を生み出していることを、村民として、また、議員として誇りに思っています。  
 一方、社会の一面面に目を向けると、少子高齢化ほか、村の発展に悪影響をおよぼす課題も少なくありません。今後はそういった問題の解決解消に向け、知恵をしぼり、汗を流して行きます。  
 微力ではありますが、議長の補佐役をしっかりと務めつつ、議会の円滑な運営と村の繁栄発展を願い、尽力してまいります。  
 村民の皆さまには、今後とも議会活動へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任あいさつ



副議長 新木 敏郎

村民の皆さまと共に考え進む委員会活動



村民皆さまの子育て、教育、健康、介護、福祉、交通、災害対策など安心・安全の暮らしを支える基本的な仕組み、そして豊かで健やかな人生を営むための環境づくりなどについての調査や議案などの審査を行います。  
 家庭で言えばお財布の中身から台所や家の事、家族の健康や将来についてなど日々の生活に密着した課題を考える役目でしょうか。  
 新メンバー一同、村民の皆さまと共に考え進む委員会活動を目標に努力してまいりますのでよろしくお願いたします。

- 委員長 黒田まり子
- 副委員長 飯塚 貞次
- 委員 細谷 市衛
- 委員 角田 宣治
- 委員 角田 文雄

産業振興常任委員会



川場村の産業振興に邁進

美しい自然と豊富な農産物に恵まれた川場村。四季折々の魅力あふれる、故郷の発展のため、委員会の所管である農林業・土木建設・商工観光・上下水道・地域振興について、常に公平な目線で審査に臨み、さらに調査・研究にも力を注ぎたいと存じます。その結果をもとに、行政に政策提言ができるよう取り組んでまいります。  
 「行動する委員会」を合言葉に議会活動をしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

- 委員長 星野 孝之
- 副委員長 丸山 敏雄
- 委員 津久井俊雄
- 委員 小菅 秋雄
- 委員 新木 敏郎

議会運営委員会



議会運営の円滑化・役割を踏まえて活動を

今回、新たに議会運営委員会が選任され今後2年間活動に邁進してまいります。  
 議会運営の円滑化や地方自治法に基づき、運営に関する事項・議会の規則・委員会条例・議長の諮問事項など審査、調査して行くのが役割です。  
 年4回開かれる定例議会や臨時議会の日程調整・議案および一般質問・陳情等を協議検討します。円滑な議会運営を進めていくため努力して参りますのでよろしくお願申し上げます。

- 委員長 細谷 市衛
- 副委員長 飯塚 貞次
- 委員 星野 孝之
- 委員 黒田まり子

議会広報特別委員会



より読みやすい広報紙作りをめざして

この度の委員会改選によりまして新たな4人が選出されました。  
 全員の力を結集致しまして、出来る限り村民の皆さまに読みやすく、時代にそった広報紙を作りたいと思っておりますので、変わらぬご愛読を戴けますようお願い申し上げます。

- 委員長 丸山 敏雄
- 副委員長 津久井俊雄
- 委員 黒田まり子
- 委員 角田 宣治
- 委員 新木 敏郎

# 新たに議長・副議長が決まる

## ■人事

議長選挙が行われ、角田文雄氏が選出されました。(秋室(新任)副議長選挙が行われ、新木敏郎氏が選出されました。(生品(新任)総務文教・産業振興常任委員会等の議会構成が変更となりました。(委員会構成につきましては、3頁をご覧ください。)

## ■専決処分

- 令和3年度川場村一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ2千4百万円を追加し、総額を36億2497万6千円としたもの。(全員賛成)
- 川場村条例等の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、関連する川場村条例等の一部を改正するもの。(全員賛成)
- 令和元年度社会資本総合整備事業(総合)村道谷地生品線(仮称)姥堂大橋橋梁上部工製作・架設工事の請負契約の変更 照明関連工事を別発注の工事にて施工予定であったが、現場状況により施工性が有利となることから本工事に追加し、契約金額を増額するもの。(全員賛成)

## ■その他

- 工事請負契約の締結 (令和3年度農地耕作条件改善事業 上宿原地区ほ場整備工事) (全員賛成)
- 和解及び損害賠償の額を定めること (全員賛成)

料について条例の規定が不要となるため、条例の一部を改正するもの。(全員賛成)

## 川場村国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症により収入減少等の影響を受けた世帯に対する国民健康保険税の減免について期間を延長したいため、条例の一部を改正するもの。(全員賛成)

## 川場村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律が改正されたことから、川場村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の特例に関する条例の一部を改正するため。(全員賛成)

## 川場村介護保険条例の一部を改正する条例

本年2月3日に新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律(令和3年法律第5号)が公布されたことに伴い、保険料減免基準を定める規定を整備するため、関連する川場村介護保険条例の一部を改正するため。(全員賛成)

## 川場村水道事業給水条例の一部を改正する条例

地方自治法第228条に基づき、指定給水装置工事事業者より更新手数料を徴収することとしたことから、条例の一部を改正するため。(全員賛成)

## 川場村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するため防疫等作業手当の規定文中の「新型コロナウイルス感染症を指

今回の注目

# 川場村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和3年6月議会定例会で、村長から提出された条例の制定1件、条例の改正7件、一般会計補正予算1件、その他1件、報告3件、議会から提出された専決処分事項の指定(発議)1件が原案のとおり可決となりました。

## ■条例

- 川場村議会議員及び川場村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 公職選挙法の一部改正に伴い、川場村議会議員及び川場村長の選挙においても選挙運動用自動車の使用料、選挙運動用ビラの作成費用及び選挙運動用ポスターの作成費用を公費負担することから、本条例を制定するもの。(全員賛成)
- 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、条例で、引用する同法の法律名及び条項の整備並びに審査の申出の手続等における書面への押印及び署名を不用とするため、条例の一部を改正するもの。(全員賛成)
- 川場村手数料徴収条例の一部を改正する条例 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が可決されたことにより、マイナンバーカードの再交付手数料

定感染症として定める等の政令(令和2年政令第11号)の廃止に伴い、条例の一部を改正するもの。(全員賛成)

## ■補正予算

- 令和3年度川場村一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ9千484万9千円を追加し、総額を37億1千982万5千円としたもの。(全員賛成)

## ■その他

- 川場村農家住宅施設の指定管理者の指定 川場村農家住宅施設の指定管理者を合同会社ユビトとするもの。指定期間は、令和3年7月1日から令和6年3月31日とする。(全員賛成)

## ■報告

- 令和2年度川場村一般会計繰越明許費繰越計算書
- 令和2年度川場村水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- 令和2年度川場村下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

## ■発議

- 専決処分事項の指定 村の事務事業及び行財政運営等の効率的な執行の観点から、議会の権限に属する事項のうち、軽易な事項について地方自治法第180条第1項の規定に基づき、村長の専決を認めるため。(全員賛成)



黒田まり子

## 長引く新型コロナウイルス感染症、今後の対策は

**黒田議員** 新型コロナウイルス感染拡大による本村の現状と対策は。

**村長** 川場村は、重点措置区域外ですが、5月4日から引き続きスポーツ施設等の閉鎖、川場まつり、村民体育祭など、中止としました。

村内では利根沼田のクラスターの濃厚接触者として10名が2週間の経過観察をしたが幸い陰性でした。

抗原抗体検査機器を導入し、役場職員、高齢者サービス事業職員、こども園・小中学校教職員の検査を実施し、村民が安心できる環境整備に努め、万が一村内で発生した場合は、即座に感染拡大を阻止できるように努めます。

**黒田議員** 新型コロナウイルスの接種計画とこれからの展望は。

**村長** 65歳以上の高齢者から行い、続いて、基礎疾患のある方と順次進め、予約制では無く

接種日時の割り当て方法を進めています。

今後は、64歳以下から16歳までの約1千600名を基礎疾患のある方を優先して進めます。

**黒田議員** 抗原抗体検査機器の単価と今後の使い方は。

**総務課長** 検査キットは、1セット3千円で300セットを用意しました。今後は村内でコロナウイルスに感染したおそれのある方がPCRを受ける前に活用して拡大防止に努めていきたいです。

## 男女共同参画の推進に向けたジェンダー平等

**黒田議員** ジェンダー平等について村長の見解は。

**村長** 令和2年4月1日現在の「地方公共団体における男女共同参画社会」の推進状況調査で

川場村は12の委員会のうち、女性委員のいる委員会数は7で、委員総数144人のうち30名が女性委員。その割合は、20・8%と国の第4次男女共同参画基本計画の目標40%以上とは大きな差異があります。しかし、社会教育委員は14名中女性が9名と60%を超える委員会もあります。

役場職員の管理職の女性の割合は、課長職12・5%、課長補佐20%、係長75%。これも国の目標数値を超えているのは、係長のみで今後は国の示す目標数値を意識しながら、女性の登用に努める。

**黒田議員** 本村の基本計画策定について。

**村長** 現在予定はないが、広報かわばでの特集や、学校の授業などで男女共同参画ジェンダーフリーについて、村民や子供たちが考える場面を作り、日常生活に男女共同参画社会の理念が組み込まれるようにする必要があり

**黒田議員** 群馬県は女性の参画割合を45%に引き上げた。本村でも策定して意識的に取り組む必要があるのでは。

**村長** ただ女性が増えればいいのかという事ではなく、しっか

りした形の中で参画していただき今後計画を策定する場合はできる限り幅広い意見を取り入れて進めたいです。

**黒田議員** 女性の労働力の率を上昇させながら、出生率も回復してきている国が経済成長をしているという現状があり、このことから、男女共同参画に関する施策の推進が少子化対策にも資するものと考えられ、男女共同参画と少子化対策は車の両輪とも言われているが。

**村長** 少子化対策は重要な課題であり、川場は子供を産み育てる環境を整えながら、減少する出生率等を引き上げていきたいと考えています。女性のしつかりとした考えのもとに、いろいろなところで活躍する場面も必要と考え

**黒田議員** ジェンダー平等教育について教育長の見解は。

**教育長** 少子化傾向が進む中、男女の別に関係なく、一人一人の適正や能力に応じた役割を担うことが必要になり男女平等の教育はますます重要性を増してくると考えますが、現実には、男だから、女だからというだけで、

は。

**教育長** 自治体の中には既に男女混合名簿を作成する先進的なところもあります。ぜひ保護者や地域の方々の意見も取り入れながら、川場に合ったものを考えていきたいです。

は、再生可能エネルギーの活用をテーマの一つとして位置づけ、可能な限り木材の使用と木質バイオマスや太陽光などのエネルギーをより効率よく活用するための施設整備を検討しています。新たな産業の創出につながるよう環境施策に取り組んでいきたいです。

**星野議員** 農地中間管理機構を活用した担い手の農地集積・集約は進んでいますか。

**田園整備課長** 本村では、耕地面積7%にとどまっている状況です。農業の高齢化を迎えるにあたり、積極的に担い手への集約を推進したいと考えています。

**星野議員** コロナ後の本村の将来の展望は。

**村長** 川場では農業プラス観光の中で、景観等を先人の皆様が重視をして守ってきたことが最大の宝であり財産であると確信

## 一般質問

星野 孝之



**星野議員** コロナ後の産業振興に対する本村の戦略および独自の施策は。

**村長** コロナ後の、農業プラス観光プラス環境を基本理念に掲げる本村の産業振興策として、農業分野においては、上宿原地区ほ場整備工事をはじめとする農地中間管理機構を活用した担い手への農地集約を積極的に推進します。農産物のブランド化推進では、現在、村内全域に水田におけるたんぱくの含有率を、衛星を使用し計測をして、これを数年実施し、情報公開することにより、米の品質向上につながると思われます。

## 川場村の産業振興策は

また、この取組を他の作物にも取り入れられるか検討したいと考えています。

観光分野では、道の駅田園プラザ川場をはじめ、川場スキー場、宿泊施設などで著しく来場者が減少するなどコロナの影響を受けています。

本村では、持続化給付金による支援や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した商品券の販売事業、新規市場開拓支援事業など、国の支援策を積極的に活用しながら、この厳しい状況を乗り越えるための施策を実施してきました。

コロナ後においては、少なからず観光客の増加が予想され、それに対応すべく川場村の観光素材を留意しなければならぬと考えています。集客力につながる素材を強化するため、農業と連携する取組が必要となります。

また、リモートワークや宅配サービスの活用など、巣籠もり需要から生じた生活様式に対応するため、SNSを活用するなど、情報発信力の強化も欠かせないものと考えています。

環境分野では、本村は既に森林資源の利活用を前提とした木材コンビナート事業に取組、木質バイオマス発電を稼働させています。2030年までに二酸化炭素排出量を46%削減する政府目標が発表されるなど、環境分野の中でも特に地球温暖化対策が急務となっています。

現在進行している新拠点整備で

## 村政を問う 一般質問

# 村政を問う 一般質問

## 群馬県町村議会議長会臨時総会

期日／令和3年5月25日（火）  
場所／群馬県市町村会館 大会議室

### 小菅秋雄議員、感謝状贈られる

臨時総会では、群馬県町村議会議長会より川場村議会前議長小菅秋雄議員が群馬県町村議会議長会の監事をされており、その功績を讃えられ、感謝状の贈呈が行われました。また、令和3年度予算並びに事業計画がそれぞれ承認されました。

## 川場村議会 全員協議会

令和3年6月4日（金）第3回定例会終了後、全員協議会を開催し、下記事項について十分な検討・説明を受けました。

### 議員発議

#### 専決処分事項の指定について

現在、村の事務事業及び行財政運営等の効率的な執行の観点から、議会の権限に属する事項のうち、軽易な事項について地方自治法第180条第1項の規定に基づき、村長の専決を認めるため、議員発議を行う。

議会運営委員長 細谷 市衛

#### 2. 川場村地域防災計画について

国・県の防災計画の修正に伴い、本村の防災計画も全面的に見直しを行ったため、計画についての詳細説明を求めた。

説明者・総務課長



## 議会の動き

### 5月

- 11日 川場村土地開発公社理事会
- 13日 第2回議会臨時会
- 17日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合  
消防運営委員会  
利根郡町村議会議長会定例会  
利根沼田広域市町村圏振興整備組合  
議会定例議員協議会  
第2回利根沼田学校組合議会議員協議会
- 18日 奥利根広域観光連携協議会総会（中止）
- 19日 川場谷小水力発電所落成開所式
- 21日 群馬県町村議会議長会理事会  
川場村商工会総会
- 22日 学校林下草刈り（中止）
- 25日 利根沼田学校組合議会臨時会
- 26日 田植祭（中止）
- 28日 川場まつり及び花火大会開催判断会議

### 6月

- 4日 第3回議会定例会（初日）  
全員協議会
- 10日 第3回議会定例会（最終日）  
議会広報特別委員会
- 15日 川場村社会福祉協議会役員候補者推薦会
- 21日 川場村社会福祉協議会評議委員会・理事会
- 28日 武尊山山開き式

### 7月

- 8日 原水爆禁止国民平和大行進
- 12日 利根郡町村議会議長会定例会・感謝状贈呈式  
利根沼田広域市町村圏振興整備組合  
議会定例議員協議会
- 16日 議会広報特別委員会
- 20日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会定例会  
沼田市外二箇村清掃施設組合議会臨時会  
第3回利根沼田学校組合議会議員協議会
- 21日 群馬県町村議会議長会理事会

## 川場村の人口ビジョン

### 星野議員

人口減少社会における

### 村長

本村の目指す適正人口は、現在の川場村の人口の推移は国勢調査によると、昭和30年の5千376人をピークに、それ以降は4千人前後で減少、増加を推移しました。しかし平成22年には、3千898人と減少し、平成27年には、3千647人、令和2年は、確定値ではないが、3千485人と減少傾向にあります。平成28年3月に村が作成した川場村人口ビジョンでは、40年後の2060年の目標人口数を3千100人と設定しています。

これは、我が国全体の人口減少傾向や高齢化率の増加など現実的な要因を加味しながらも、第一次産業の担い手確保や若者の定住促進、移住支援などの対策を講じ、一定の効果を上げることが前提とした上で、緩やかに減少しながらも、現状の規模を維持するという目標数値です。村としましては、この目標人口の数値が目指すべき基準となるものと考えています。

### 村長

令和2年の国勢調査の3千485人という数字は、人口ビジョンで想定する令和2年の人口と比較すると60人ほど少ない数値になります。現在取り組んでいる施策のほかにも新たな取組の模索を続けていく必要があると考えています。

既に取り組んでいる直接的な若者定住政策でありますニュータウンかわばの宅地分譲では、宅地用に販売した11区画が全て完売し、現在建設中の最後の住宅を含めると、43名が新たに定住したことになります。特に若者定住を推奨したことでも僅かですが、高齢化率の抑止にもつながる事業となりました。間接的に定住人口増加を期待するものとして、就業の機会を増やす意味で、ニチネンなどの企業誘致や田園プラザ事業など観光振興も引き続き推進していきたいです。定住人口の増加につながる移住政策には、移住を希望される方が実際に川場村で生活を始めてから、川場村に愛着を持ち、末永く幸せな生活を送れるよう、個々の生活様式や移住目的、就業希望などを伺いながら、受入れ可能な範囲で案内し、マッチングできるように取組が必要です。

### 星野議員

再生可能な空き家の発掘や小中一貫校実現後の空き校舎の利活用など、移住体験やリモートワークに対応した施設整備などを行い、今後ますます増えることが予想される要望に応えられるよう受入れ機能強化に取り組んでいきます。

### 村長

また、居住人口の限界を補い、将来的な移住にもつなげて関係人口を増やし、活性化を推進する取組も重要であります。川場村が、村として存続する人口規模を維持し、村民が幸せに生活できる村として将来につなげていくためには、産業や経済、福祉など直接的、間接的に広く関わりを持つて取り組む必要があります。第2のニュータウン川場の計画は、川場村は交通の便が良く、なかなかなか住むというところに至らなかつたと考えます。県内35市町村でも、交通事情の不便な奥まった上野村や南牧村等においては、非常に移住者が多いと聞いています。地域の方々の意見も取り入れながら、川場ならではの定住、移住施策を考えていく必要があります。

### 村長

村で助成、補助制度を用いて低価格にしたところ全区画完売した経緯があります。特に40代以下の家族が暮らしています。今後、情勢を踏まえた上で新たな開発も検討する必要があります。また、高齢化が進む中で村内でも空き家等が徐々に増えてきました。その活用も考えていきたいです。

### 星野議員

企業誘致を推進するうえでの基準は、

### 村長

川場村の農業プラス観光プラス環境の理念に合致する企業の誘致を推進していきたいです。またコンビニエンスストアがないことと不都合であると村民の皆様から聞いていますので誘致を引き続き進めていきたいです。

### 星野議員

「川場村に住む」というシティブロモーションの考えは、

### 村長

川場村は交通の便が良く、なかなかなか住むというところに至らなかつたと考えます。県内35市町村でも、交通事情の不便な奥まった上野村や南牧村等においては、非常に移住者が多いと聞いています。地域の方々の意見も取り入れながら、川場ならではの定住、移住施策をを考えていく必要があります。

# 川場村農業委員会の活動内容と、 今後の耕作放棄地対策

川場村農業委員会 会長 **外山政太郎**さん



川場村農業委員会では、認定農業者やその後継者が中心となって、意欲ある農業経営を行っており、規模の拡大を図るため、農業機械で耕作可能な優良農地を求めております。条件に合う農地がございましたら農業委員会事務局までお申し出ください。

各地区推薦8名、ぐんま女性農業委員ネットワーク推薦2名の計10名の農業委員と、5地区から推薦された5名の農地利用最適化推進委員、合計15名で活動しております。

川場村の農家数は400戸ほどですが、年々減少しているのが現状です。最近では、野生鳥獣による被害や、異常気象による自然災害が増加していることもあり、これに比例して耕作放棄地も増加していることが問題となっております。

また、自宅周りや、狭く条件の悪い農地は借り手が少ないのが現状です。電気柵等の設置や草刈り等の保全管理の徹底は、獣害対策に非常に効果的です。今後も継続して対策していただきたいと思っております。

川場村の素晴らしい田園風景が後世まで残せるように、微力ながら尽力して参る所存です。で、何とぞご協力のほどよろしくお願いたします。



姥堂大橋（仮称）の現在



新拠点構想推進事業 造成工事始まる

## 編集後記

新組織発足らしい早いもので3カ月が過ぎようとしています。相変わらず新型コロナウイルスの収束する感じすら見えて来ません。一刻も早く元の暮らしに戻ることを願っています。

そのような中ですがオンラインピックが開催され、希望の光が差し込んで来たようにも思われます。日本選手団の活躍で全国の人々に希望と感動を与えられることを期待しています。

（委員長 丸山 敏雄）



## 議会広報編集委員

委員長	丸山 敏雄
副委員長	津久井俊雄
委員	黒田まり子
委員	角田 宣治
委員	新木 敏郎